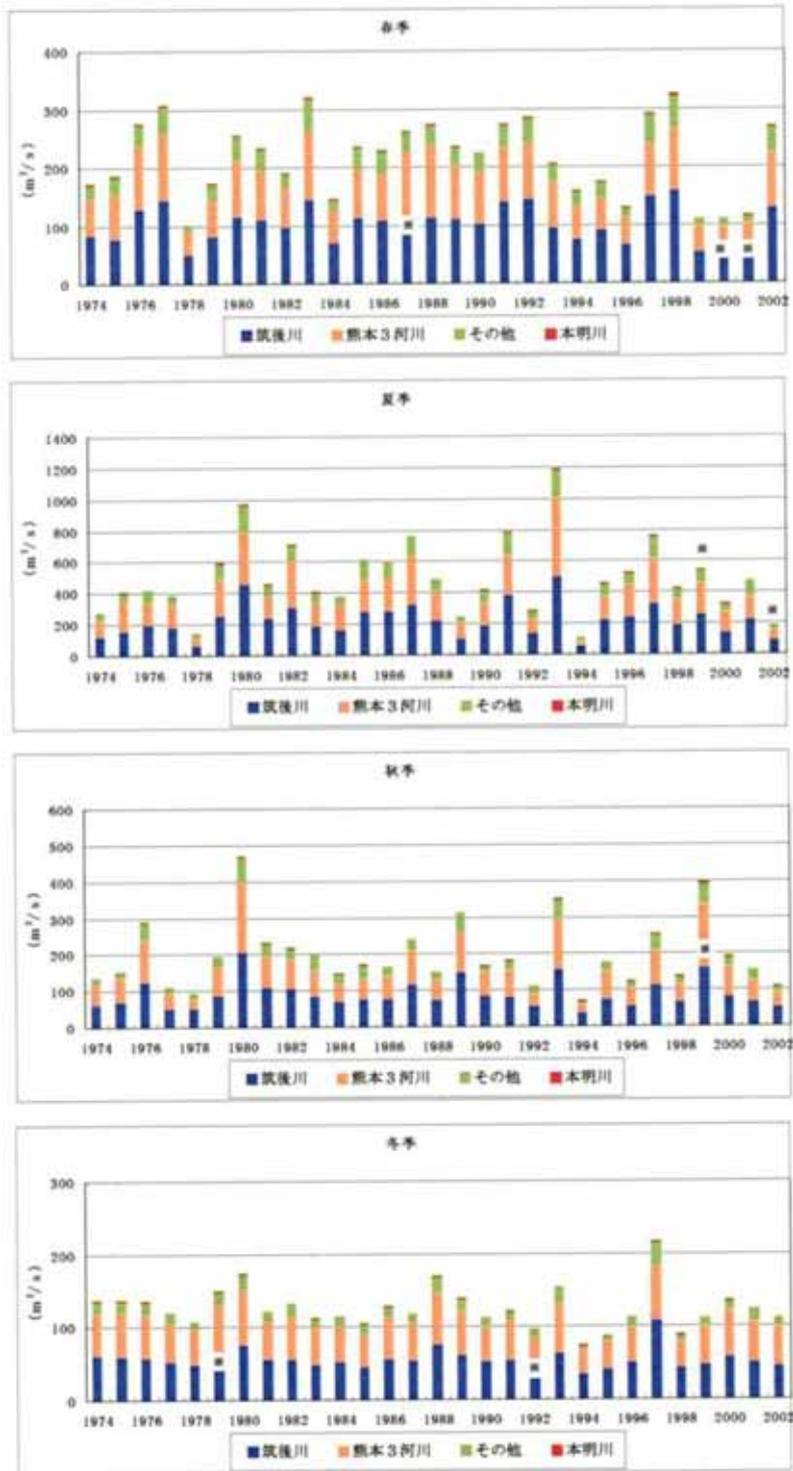
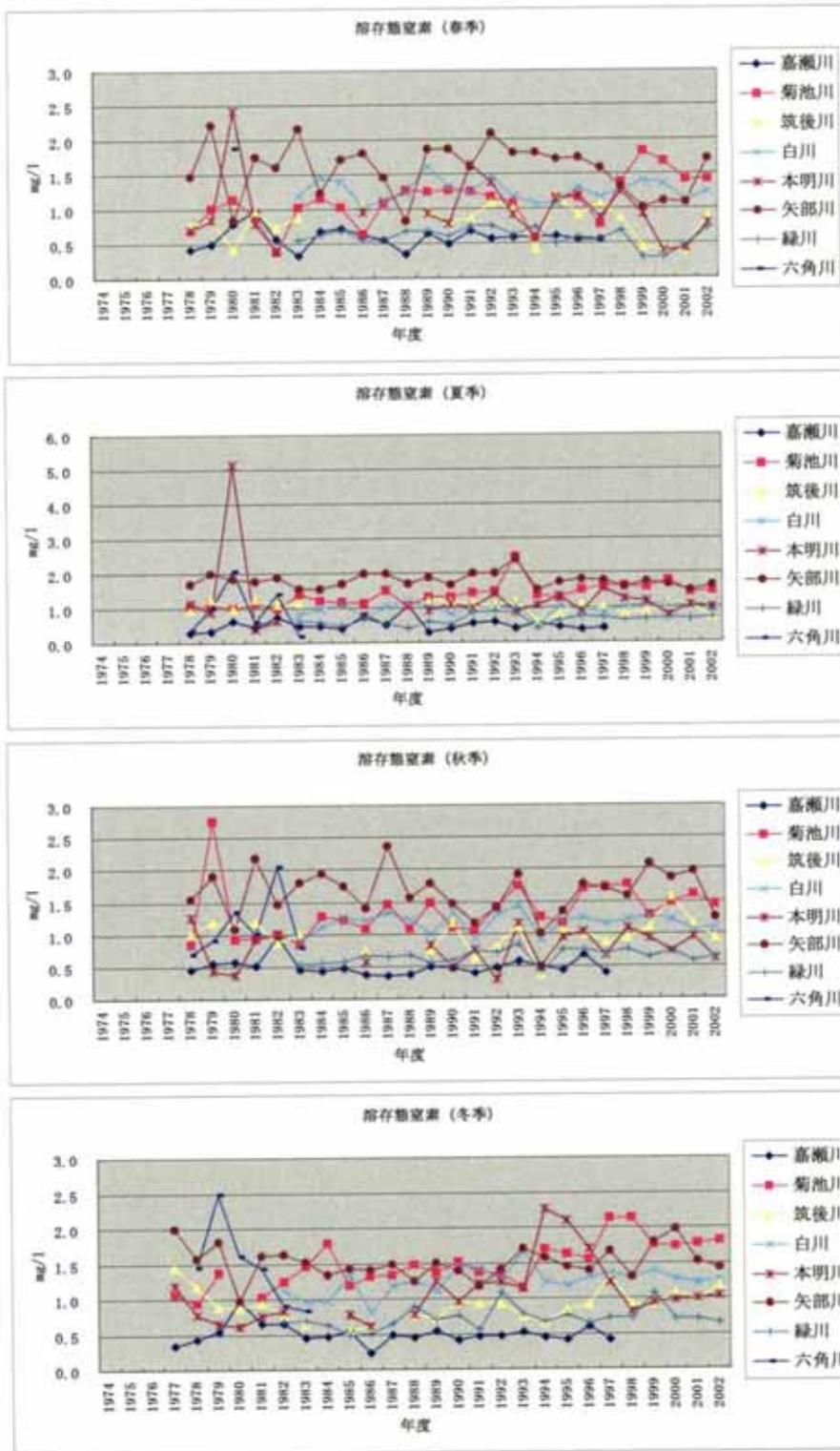


(8 9) 別添資料 89 : 栄養塩の流入



注) 対象期間中に欠測がある場合は、該当年に「 」を付した。
 資料: 「有明海における干拓事業漁業被害原因裁定申請事件 専門委員報告書」(平成 16 年 12 月)

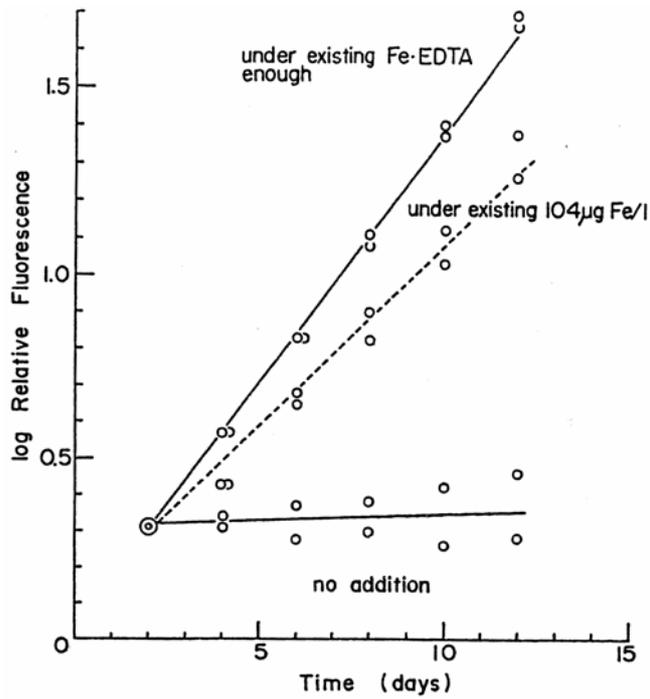
図 91 主要 8 河川における季節別平均流量の経年変化



資料：「有明海における干拓事業漁業被害原因裁定申請事件 専門委員報告書」(平成 16 年 12 月)

図 92 主要 8 河川における栄養塩 (溶存態窒素 : DIN) の季節別平均値の経年変化

(9 0) 別添資料 90 : 赤潮と貧酸素水塊



資料：本城凡夫(2004)「有明海・八代海における赤潮の発生について」第12回有明海・八代海総合調査評価委員会 資料4

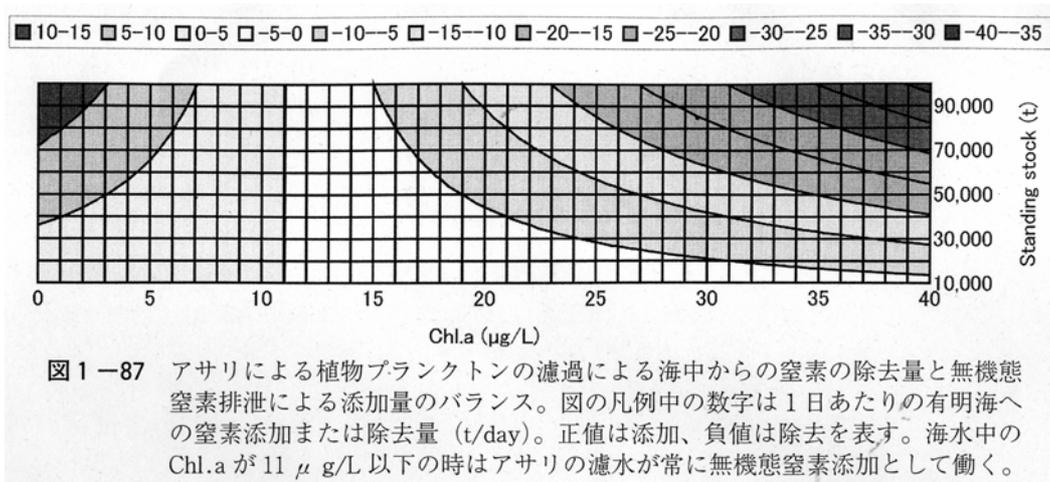
図 93 基本培地へ $\text{FeCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ の形で $104 \mu\text{g Fe/l}$ 添加したときの *Chattonella* sp. (三河湾産ホルネリア) の増殖

(9 1) 別添資料 91 : 二枚貝による濾水量

表 20 有明海の水容量、海水交流量、下線流量及び二枚貝による 1 日あたり濾水量の比較
(単位 : $\times 10^6$ k L)

| | | | |
|-------------|-----------|-----------|---------|
| 有明海容量 | | 34,000 | |
| | | 大潮 | 小潮 |
| 外海との海水交流量 | 1 潮汐 | 6,300 | 2,700 |
| 干潟への海水交流量/日 | 約 50 年前 | 1,015 | 189 |
| | 現在 | 761 | 142 |
| 河川流量の合計/日 | 年平均 | 21.9 | |
| | | 24°C | 10°C |
| アサリによる濾水量/日 | 最盛期 | 400-600 | 100-200 |
| | 1996-2000 | 23-51 | 6-14 |
| 二枚貝全体の濾水量/日 | 1990 年以前 | 400-1,000 | 100-370 |
| | 1996-2000 | 61-177 | 21-63 |

資料 : 「研究成果第 432 集 有明海の海洋環境の変化が生物生産に及ぼす影響の解明」(平成 17 年 3 月 25 日), pp.76-83



注) 図の凡例中の数字は 1 日あたりの有明海への窒素添加または除去量 (t /day) , 正值は添加、負値は除去を示す。海水中の Chl.a が $11 \mu\text{g/L}$ 以下の時はアサリの濾水が常に無機態窒素添加として働く。

資料 : 「研究成果第 432 集 有明海の海洋環境の変化が生物生産に及ぼす影響の解明」(平成 17 年 3 月 25 日), pp.76-83

図 94 アサリによる植物プランクトンのろ過による海中からの窒素の除去量と無機態窒素排泄による添加物のバランス